

令和8年度 第1回

交野市水道事業及び下水道事業経営審議会

議事要旨

令和8年6月24日開催

交野市水道事業及び下水道事業経営審議会（第1回） 議事要旨

開催日時	令和8年6月24日（水）10:00～
開催場所	交野市星の里浄水場 会議室
出席委員	後藤会長、市岡副会長、末吉委員、平田委員、山崎委員、竹内委員、代永委員、加茂委員
傍聴者	なし
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長挨拶 4. 会長及び副会長の選任について 5. 諮問 6. 議事 前回審議会の振返りについて 7. その他 8. 閉会
資料	次第 資料1 審議会委員名簿 資料2 審議会条例 資料3 第1回交野市水道事業及び下水道事業経営審議会資料 資料4 交野市水道事業経営のあり方について 諮問書（写）
所管	交野市上下水道部 総務課

議事概要

1. 開会

事務局より、開会の挨拶

2. 委嘱状交付

市長より、各委員へ委嘱状を交付

3. 市長挨拶

市長より、交野市水道事業及び下水道事業経営審議会開催の挨拶

4. 会長及び副会長の選任について

委員より、事務局側に会長及び副会長の推薦を一任したい申し出があり、委員全員の同意を得た。

事務局側より、会長に埼玉大学名誉教授・同志社大学研究員の後藤委員、副会長に交野市区長会会長の市岡委員を推薦する旨の提案があった。

結果、委員の互選により、後藤委員が会長に、市岡委員が副会長に選任された。

5. 諮問

市長より、交野市水道事業及び下水道事業経営審議会における諮問の実施

— 以下、議事内容に沿って会長が進行 —

6. 議事

【前回審議会の振返りについて】

事務局より、資料3について内容を説明

— 以下、意見・質疑応答 —

委員

資料6 ページ目の財政目標における料金回収率について、改定前の令和4年度が100%未満であったのに対し、令和6年度実績が102%超、令和7年度見込みが100%超となっているのは、料金改定によるものか。また、この令和6年度・令和7年度の料金回収率の数値は、当初の改定見込みどおりであったのか。

事務局

令和6年に料金を平均16%引き上げ、当初の目標であった料金回収率100%以上、予算上の102%超という計画は、現状達成できている状況であります。

委員

資料 10 ページ目の「国の補助金の採択による財源の確保」に関して、老朽化対策（特に耐震化）には多大な費用がかかるため、国庫補助金の積極的な活用が重要であると考えている。現在の補助金活用状況について、実績と今後の計画（具体的な金額が難しければ、大まかな規模や計画通りの進捗状況）を教えてほしい。

事務局

国庫補助金の採択には料金回収率 100%以上が要件であったため、当初の計画では令和 6 年度と 7 年度は補助金を見込んでいませんでした。

しかし、その後管轄が国土交通省に移管されたことや、市からの積極的な要望活動が実を結び、状況が好転しました。

- ・ 令和 6 年度: 初めて補正予算で約 100 万円の補助金を受給できました。
- ・ 令和 7 年度: 当初見込みになかった 1 億 9,600 万円もの補助金を受給できました。
- ・ 令和 8 年度: 当初は約 3,300 万円を見込んでいましたが（主要な送水管工事の補助対象が少ないため）、現時点では約 3,800 万円の実績が見込まれており、これも計画を上回っています。

全体として、当初計画よりもはるかに多くの補助金を獲得できており、非常に好調な状況であるところです。

委員

商業連合会の代表者として参加しており、水道事業は専門外である。一般市民の視点から、今後の水道料金改定について、その内容が納得できるものか自身でしっかり学習していきたい。前回は参加し、その内容を踏まえ、今回も建設的な審議に貢献したい。

委員

消費者の立場として、いつもおいしい水を提供していただいていることに感謝しています。水道事業の財政状況については理解が浅いため、今後の会議を通じて学び、理解を深めていきたいと考えています。

委員

資料 3 ページに記載されている交野市の水源について、計画では地下水が 80%であるにもかかわらず、実績が 75%になっているのはなぜか。

水道管の老朽化に伴う大規模改修が必要とされているが、これらの水道管に対してはすでに常時（継続的）な点検が行われているのか。

事務局

令和 3 年のポンプ場改築直後は 80%を達成していたものの、保有する 17 か所の井戸の

うち約6割が築20年以上の老朽施設であり、年間約4か所の井戸ポンプが故障しています。ポンプ交換には1~2ヶ月かかるため、その間、外部からの水購入（企業団水）が5%ほど増加し、結果として地下水利用率が計画を下回っています。今後は新規井戸も掘削し再び80%達成を目指します。

橋に架かっている水道管については、老朽化が進んでいる部分が多く、150~160か所を5年計画で定期的に点検し、水漏れの確認と修繕を実施しています。

その他の水道管については、地域ごとの管の劣化状況や重要度をマッピングシステムで把握しており、老朽化や損傷の進みやすい箇所を重点的に、計画に基づいて修繕を行っています。

副会長

区長会会長として、またこの度の副会長として、水道事業は厳しい経営状況にあるものの、その持続可能性の確保が極めて重要だと認識している。水道料金改定などが市民生活に大きな影響を与えるため、委員の皆さんの意見を取り入れ、会長を補佐しながら、市民が納得できる方向へ導きたいと考えている。

今後の審議会で上下水道部から提示される資料を詳細に検討し、市民の負担をなるべく増やさず、かつ持続可能で安定した水道事業経営が実現できるよう、上下水道部の努力を促しつつ、最終的な答申に向けて会長と共に尽力していく所存である。現時点では個別の質問はない。

会長

最近、水道水や井戸水にPFAS（有機フッ素化合物）が混入しているという水質問題が話題になっているが、交野市ではPFASの検査を行っているか、また結果として問題がないと判断されているのか。もし検査を行っている場合、年に何回、どのような頻度で検査を実施しているのか教えてほしい。

事務局

令和8年4月1日の法令改正により、PFASのうちPFOSとPFOAの測定義務と基準遵守が定められました。これを受け、交野市では今年度から、市内5つの配水区域の蛇口の水を、法令で定められた年4回測定しています。すでに第1回目の測定を実施しており、すべての測定結果が水質基準以下であり、安全な水が供給されていることを確認しています。

7. その他

今後の審議会のスケジュールについて

8. 閉会

以上